

鎮西学院 史跡ガイドブック



学校法人 鎮西学院

- ・長崎ウエスレヤン大学
- ・鎮西学院高等学校
- ・鎮西学院幼稚園

索引図



東山手エリア

徒歩30分

おあめコース

市電「石橋」行に乗り、「大浦海岸通」または「市民病院前」で下車。「大浦東山手居留地跡」からオランダ坂を上る。左に「活水学院」正門があり、さらに上ると「鎮西学院発祥の地」のプレートがあります。



オランダ坂



鎮西学院跡



1881年

加伯利英和学校 (カブリーセminナリー) 創立

創立者 C.S.ロング

鎮西学院と改称 1906年



デビソン宣教師

長崎は、鎖国から開国した日本の窓口となり、新時代をになう人たちが往来しました。アメリカ・メソジスト教会から派遣された、デビソン宣教師は出島メソジスト教会を建設し、西日本一帯の宣教活動をはじめました。彼は、日本の将来のために近代教育が必要であると考え、教育ができる男女の宣教師をもとめました。デビソンの求めに応じ来日した女性宣教師ラッセルとギールは活水学院を設立し、C.S.ロングは男子教育のために加伯利英和学校 (カブリーセminナリー) を設立しました。ロングは学校設立に情熱を注ぎ、[Be Christian Gentlemen (クリスチャン・ジェントルメンであれ)] と語りました。第1回入学生を迎えたのは1881年のことでした。



出島メソジスト教会
鎮西学院、活水学院の
教員・生徒の祈りの場
となった。



加伯利英和学校 (カブリーセminナリー)
授業はほとんど英語でなされた。卒業
生の中からは留学する者も多く各界で
活躍した。



明治時代の教員と学生
1901 ~ 1902年



1928年東山手最後の全校生徒と職員
老楠の下にて

鎮西学院の誕生

C.S.ロング夫妻は、アメリカを
発つとき最初にカブリー夫人が献
げた2ドルにつづいて学校設立の
資金が添えられたことを喜び、早
春の輝く日光とつつじの花咲くやわらかい空気の長
崎に着いた。生徒の中には英語を学ぶのが唯一の目
的であった者もいく人があったが、大部分は進んで
キリスト教を研究し崇高な教えを学ぶようになり、
開校2年後、学生は25名になった。



創立者 C.S.ロング



加伯利英和学校(カブリーセミナー)初期の入学生



初期の校舎と寮 1階教室、2階寮

歌劇 「蝶々夫人」とコレル夫人



コレル院長夫妻

町の人と親しく接していた第5代院長コレル夫人は、ある日、下町の娘のあわれな話を聞いた。夫人は、帰国後、この話を弟のジョン・ルーサー・ロングにして聞かせると、弟は非常に感動してこれを「マダム・バタフライ」(蝶々夫人)という小説にした。「蝶々夫人」の物語は次のとおりである。

地中海の勤務を終えて長崎に立ち寄ったピンカートン中尉は長崎の17歳の娘と盛大な結婚式をした。それがお蝶さんであり、蝶々夫人である。住む家を手に入れて、2人の幸せな生活が始まった。しばらく生活を楽しんだ後ピンカートンは去っていった。蝶々夫人は生まれた子どもを育てながら夫の帰りを信じて待ちつづけていた。ところが、ある日、港に入った船に金髪の婦人をつれたピンカートンがいた。夫の帰りを信じていた蝶々夫人は、それが夫の妻であることを知らされ、絶望のあまり、短刀を手にして自殺する。

この小説が戯曲になりフィラデルフィアやニューヨークで上演された。公演が始まると、初演から圧倒的な人気を得た。ロンドンでこの劇が上演された時、弟の友人で作曲家のプッチーニは大変感動し、オペラにしたいと申し出た。こうして歌劇「マダム・バタフライ」が完成したのである。オペラは今も世界中で歌い継がれている。

長崎中央エリア

- ① 出島メソジスト教会(1876 ~ 1904)
- ② 興善町YMCA(1901、現金屋ビル)
- ③ 袋町長崎YMCA青年会館(1906、現西九州酒類販売)
- ④ 長崎銀屋町教会(被爆後の仮校舎、現在地)
- ⑤ 磨屋小学校(被爆後の仮校舎、現諏訪小)



竹之久保エリア

九州電力

徒歩30分



おあめコース

JR「浦上駅」市電「松山町」で下車。西に向かって浦上川を渡ると左の丘に活水中学校・高等学校の校舎が見えます。被爆した鎮西学院校舎の跡にそのまま現校舎が建てられています。「城山教会」の跡に現活水中学校・高等学校校長宅があります。手前から「鎮西通り」「鎮西公園」があり、梁川橋は昔の「五厘渡し」のおもかげをのこしています。

ほかに平和公園、原爆落下中心地、原爆資料館は必見です。如己堂、一本足鳥居などがおすすめです。



長崎市には、主として笹森卯一郎先生の努力で、その頃としては珍しく立派な市青年会館ができ、笹森先生は鎮西学院の院長であると同時に、市の宗教界の指導者として青年会館を中心に活動されることとなった。おそらく先生としても、最も華々しい時代だったろう。それと同時に、私共も、肩幅の広い思いがして、おそらく今の学院生徒諸君が想像も及ばないほど意気軒昂たるものがあっただろう。

〔鎮西校友20号：旧中18回卒 佐野勝也〕



袋町長崎YMCA青年会館

初の日本人院長

笹森卯一郎（第10代院長 1906 - 1911）は、久しく絶えていた神学生を新しく募集した。創立25周年記念を挙行した。明治41年中学部は徴兵令第13条により文部大臣の指定を受け、学院の基礎がかたまつた。生徒数305名。礼拝を改め毎日第2校時の終わりに全校生及び教職員が講堂にあつまり、30分の礼拝をまもるようになった。学生に深い印象を残し、その生涯に大きな影響を与えた。



校舎 赤煉瓦造

川崎升院長の人格主義教育

「西郷南洲（隆盛）のいわゆる敬天愛人は人格主義の主張そのままである。神を敬う心は人を敬う心を厚くするものである。人を敬う故に人を愛する。而して忠孝仁義の心はこの間にあるのである。…鎮西学院は只一つ人格主義の主張として敬天愛人の大思想に基づき、敬虔自治を訓育上特に高調する点が特色なのである。」（川崎升院長講演より）





スコット院長



竹之久保校舎へ新築移転

東山手の校舎は手狭となり、竹之久保への新築移転が計画された。F.N.スコット院長（第12代 1912 - 1913）は総予算の3分の2にあたる10万ドルを米国で募金し、笹森、鷗崎、川崎の3院長を助けた。

スコット院長は思い出の記に次のように記している。「鹿児島を出発、馬車、船、汽車を利用して長崎に着いたのが1907年5月14日の朝、7時34分、折から道ノ尾公園で開催中の鎮西学院大運動会を見物した。」

スコット先生は宣教師宅を校舎の西側に定め、毎週1回、自宅で長崎高商、長崎医大、長崎医専および鎮西中学上級生のためのバイブルクラスを開き、熱心に学生、生徒への指導をした。卒業後に米国に留学した生徒たちを世話し、昭和初期の経済不況の時、米国の教会に訴えて募金した。その特別奨学金は多くの生徒を援助した。1939年、戦争へ進む状況のなか、学院を去り、帰国した。

東山手にあったウエスレー教会は、竹之久保の4階礼拝室で日曜礼拝を守り、城山教会となった。スコット宣教師が帰国した後、その宣教師館を城山教会の会堂として使用することになった。笹森卯一郎元院長の長男笹森建一氏が牧師として就任した。

1938年の日華事変のために応召、出征した者は40名に達し戦死を遂げた者が3名となった。遺族から



当時の制服と学生帽

母校に300円の寄付があり、西条寛雄院長（第17代 1937 - 1947）は校庭の北端の旧砲台跡に「尽忠報国」と書いた記念碑をつくり、来賓を招いて除幕式を行った。生徒総数700名。

秋永薫先生指導のもとYMCA（キリスト教青年会）が18名のメンバーで再開、毎週水曜始業前に4階の礼拝堂で祈祷会を守った。

これは東山手の寄宿舎を中心に結成されていたもので竹之久保で途絶えていた。また、千葉胤雄宗教主任を中心に職員有志による朝の「静聴」の时每朝7時30分から約30分間、礼拝堂で自由参加で行った。1937年頃はスポーツの隆盛期で、柔道、射撃、水泳、野球の4つの部が優勝した。また1937年、野球部は九州大会で準決勝戦まですすんだ。

戦時下の学院

昭和初期は、戦時色が濃厚となり、すべての私立学校にも「御真影」と呼ぶ天皇、皇后の写真と教育勅語が奉安され、天皇礼拝が強制されるようになった。御真影を安置した奉安庫は竹之久保校舎の北端、4階の西側に置かれていた。教職員生徒は登下校の際直立不動の姿勢をとって、奉安庫に対し脱帽、最敬礼をしなければならなかった。教職員は県当局の指導によりカーキ色の軍服に似た服を着るようになった。



野球部

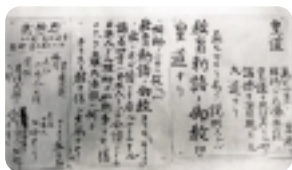
1938年、「国家総動員法」が制定され、鎮西学院特別奉仕団が結成された。時津、道ノ尾の道路作業、千々石の橘神社の創建奉仕などに動員された。また出征兵士の農家の手不足を補うために田植え作業に出かけた。

配属将校

1925年に全国一斉に陸軍省から将校を配属して軍事教練がはじまった。最初の頃は穏健な将校が配属され、チャペルなどの宗教教育に協力的であった。戦時色が濃くなると、配属将校の発言は軍の威力を

背景に増大していった。

「日本の皇道こそ世界唯一の真理であり、外国の思想や宗教は一切不要である」という発言や、キリスト教倫理、聖書に基づ



配属将校による
キリスト教誹謗の掲示

づく人格教育を行うことは敵性謀略行為だ、反軍思想だと批判し、チャペルの説話の言葉じりをとらえては校長室に、宗教主任に、宣教師に対して露骨ないやがらせをおこなった。

また「他学校とくらべてこの学校には不具者、病弱で教練も出来ないような生徒が多いのは一体どうしたのか」と詰問した。川崎升院長「たとえ身体は不具者であっても日本人同胞であって、陛下の赤子です。教練は受けられなくとも教育をして立派な日本人に育てる責任が私どもに与えられていると信じて入学させているのです」と答えた。これに対してさすがの師団長もだまっていなずくほかはなかった。

日米開戦

1941（昭和16）年、真珠湾攻撃によって戦争が始まった。すでに宣教師たちは帰米していた。軍は予科練または少年特別幹部候補生を募集するため、卒業生を母校に送った。彼らはチャペルで雄弁をふるい勧誘した。1944年には軍は学校に対して、数十名の生徒が応募するように通達を出し、生徒が次々と入隊していった。また身体虚弱で、徴兵検査で丙種になりそうな生徒を40名ほど選んで、40日間訓練し、少なくとも乙種合格の体格になるように、軍からの命令もあり、教員が生徒と生活をともにし厳しい訓練をおこなった。その結果ほとんどの生徒が合格の標準に達した。実に苦しい生活であった。

長崎への爆撃

1944（昭和19）年8月10日初爆撃があった。空襲警報が鳴り渡ると教職員と上級生はただちに学校に

集合し部署につかなければならなかった。校舎の一部が三菱電機長崎工場の軍需工場となった。三菱兵器工場、鍛造、鋳物、機械の各工場に配置された。

礼拝禁止の勧告と中止

西条院長は県学務課の礼拝中止の勧告に対して、キリスト教の礼拝は決して県当局が考えているようなものではない旨を強調し、強く拒絶したが、軍の強い指示により、もし中止しないならば、閉校を命ずると迫られた。礼拝をしばらく中止することに決定したのであった。



軍事教練

原子爆弾投下

1945年8月9日快晴、爆心地より500メートルの丘の上に立つ鎮西学院校舎は4階と講堂が完全に破壊され、1階と2階の一部がわ



破壊された校舎

ずかに輪郭を残していた。この日死亡した職員4名、生徒約10名。自宅また工場で爆死した職員3名、生徒約90名であった。この時西条院長は長崎駅を訪問し用談中であつた。一時壕に避難したあと、26聖人殉教の丘をこえて、大学裏に着いたのは6時ごろで、そこから向かい側にある鎮西学院への道は行くことができなかつたので遠回りして城山地区にはいった。7時ごろ倒壊した院長宅に到着し、負傷者の救出にあつた。3日目になってやっと救護隊がきた。その後、活水学院の教室・磨屋小学校と銀屋町教会で授業を再開した。



原爆によって破壊された竹岩橋と鎮西学院



活水中学校・高等学校
1号館

竹之久保校舎は1929年11月建築された。

被爆後、残存した校舎1、2階部分の上に、そのまま4階建ての建物が復元され、現在、活水中学校・高等学校1号館となっている。



校訓の碑と千羽鶴

なお校庭には、鎮西学院校訓の碑があり、毎年8月9日、活水中学生・高校生が千羽鶴を献げている。



同窓生：金ヶ江清太郎氏桜の木寄贈
(1939年寄贈を記念して校訓の碑建立)



一本足鳥居
山王神社鳥居

鎮西学院は原爆により校舎を失い、磨屋(現諏訪)小学校、銀屋町教会の礼拝堂を借りて授業を再開した。長崎に学院を再建することは不可能で、諫早永昌町の海軍病院の病棟三棟と職員宿舎が、海軍の消失と共に空き家になっていたものを借り受けることができた。流浪の半年を経た1946年3月のことであつた。ここに450名の生徒が復校した。

戦後の日本を公式に訪問した米国メソジスト教会の代表ディフェンドルファー博士たちは、鎮西の惨状をみた結果、遺憾ながら^いかんながら廃校にすべきだと考えていた。このことを知った千葉胤雄院長は廃校にしてはならぬ、どうかして存続をと願い、熱心に調査団に学院の復興を懇願した。その愛校心に感激した代表団は、都市にある青山学院や関西学院、名古屋学院と同じような都会的な教育をつづけるのではなく、独自性をもつ教育機関とすること、たとえば、戦後の日本国民多数がおちいつている飢餓状況を救い、日本の社会機構を変革するに必要な農業を主として労作を喜ぶ「生活教育」を行うならば、存続可能だとした。千葉院長はさっそく試案を示し、それが適当と認められたのである。

千葉試案は「ラーニング・バイ・ドゥーイング」で、行動によって学ぶということであつた。農業による生活教育という考え方は、後年にいたるまで鎮西学院に対するミッション側の要望でもあつた。この教育理念はいま長崎ウエスレヤン大学のコミュニティ・サービスに引き継がれ、市民に公開する講座などのプログラムとして提供されている。

メモリアルエリア



デビソン夫妻

1876年出島メソジスト教会(現長崎銀屋町教会)を設立、活水女学校(現活水学院)と加伯利英和学校(現鎮西学院)の創立に尽力した。1877年にメソジスト讃美歌(53曲)を出版した。その中に、「あめには御使(讃美歌1 158番)等があった。坂本国際墓地にはデビソン夫妻、隣にはフルカーソン院長夫人、スコット院長子女、ジョンソン院長子息の墓碑がある。

笹森卯一郎家

第10代院長笹森卯一郎、笹森 敏、笹森建一、
笹森建二、笹森建三、笹森四郎

川崎 升家

第15代院長川崎 升、川崎寿美枝

秋永寿一家

秋永寿一、秋永暉子

倉場富三郎

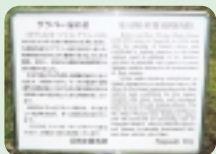
1870年12月8日イギリス人トーマス・グラバーの第2子として長崎市に生まれ、鎮西学院の前身加伯利英和学校に入学。父トーマス・グラバーは大浦海岸通に貿易商社グラバー商会を設立し、日本で初めて汽車を大浦海岸通に走らせ、小菅のソロバンドックの建設や長崎港外「高島炭坑」に洋式採炭機を導入した。彼が住んでいたグラバー園は観光名所となっている。



坂本国際墓地

- ①デビソン宣教師夫妻
- ②ジョンソン宣教師子息
- ③フルカーソン宣教師夫人
- ④スコット宣教師子女

①②③④



⑤倉場富三郎

Dona Nobis Pacem

(我らに平和を与えたまえ)



⑥



⑦

県営墓地

- ⑥笹森卯一郎家
- ⑦川崎升家
- ⑧秋永寿一家



⑧

諫早へ



諫早市永昌町、海軍病院跡に移転	1946年
栄田町の現在地へ移転	1950年
ピースチャペル献堂	1959年
鎮西学院短期大学開学	1966年
長崎ウエスレヤン大学開学	2002年
被爆60年「平和宣言」「平和の鐘」	2005年
創立125周年記念行事	2006年

ウィルキンス牧師

ウィルキンス牧師は、1947年9月27日、当時一般人の渡日が自由でなかった時、占領軍マッカーサー元帥に日本視察の許可をねがって、日本各地の惨状を巡察した。諫早に仮住まいをしている原爆被災校鎮西学院がメソジストの学校であることを知り、千葉院長をはじめ教職員たちが窮迫した生活のなかで学校の復興に心身を労している苦勞を共に体験した。約1週間の滞在であったが、彼は毎日生徒たちを校庭に誘い出しバレーやソフトなどスポーツをし、英語の不自由な学生たちに冗談を交えて会話するなど、昨日の敵国人とは思われぬほどの真の友人、悩んでいる者の友であることを印象づけた。彼は帰米すると、教会に訴え、学院の復興のために支援を呼びかけたのである。以来20年にわたり、数千ドルの献金をミッションボードを通じて学院に送り続けた。ウィルキンス牧師夫妻は、学院の復興事業が一段落し、短期大学が新設された時に来校し、90周年記念式に3たび、来校した。長崎ウエスレヤン大学開学時に新築された、学食、図書館、情報センター、研究室棟は同氏を記念して、「ウィルキンス館」と名づけられた。

平和学をめざして

「鎮西学院史跡めぐり」いかがだったでしょうか。わたしたちは鎮西学院125年の歴史の中に建学の精神を学び、C.S.ロング先生がいわれた「Be Christian Gentlemen」、川崎升先生以来の「敬天愛人」をあらためて思いました。建学の精神は将来へと私たちの導きの杖です。

2002年に開学した長崎ウエスレヤン大学は、平和をつくりだす人「アデルフォス」の育成を目標としています。また、千葉胤雄院長が残した実学教育は地域に奉仕する「コミュニティ・サービス」として受けつがれています。

鎮西学院が歩む方向は「平和」というキーワードであらわされます。平和の実現のために働く人材を輩出することこそ、鎮西学院の使命でした。これからもそうです。

平和学は緊急の課題と思われれます。そのために、アジアの人たちとのこれまでの交流を「学」として構築する必要があります。そこから生まれる国際共同奉仕事業は道をひらきます。



平和宣言



幸福なるかな平和ならしむる者

(マタイ5章9節)

War is Hell (千葉胤雄院長の被爆時の叫び)

悲惨な被爆体験を持つ鎮西学院は神の前に深い罪を悔い改め核廃絶とあらゆる戦争をなくすために祈り地の上に真の平和を来たらすことを宣言する

2005年8月9日

被爆60周年の日に 鎮西学院

平和宣言について

院長 林田秀彦

1945年8月9日、午前11時2分、長崎浦上上空で炸裂した原子爆弾は、7万7千余の尊い人命を奪い、全ての建造物を破壊し灰塵に帰した。鎮西学院は、爆心地より約500メートルの至近距離にあったため、その惨状は言語に絶するものであり、竹之久保校舎は壊滅し教職員8名、生徒110名余の愛する者の命が一瞬にして奪い去られた。千葉胤雄院長(当時教頭)はその惨状を「阿鼻叫喚の生き地獄だ! “War is Hell” この言葉を何べんも心の中で繰り返した」と書き付けておられる。憎み争う人間の罪は、原爆という神を恐れぬ兵器をもって、人類滅亡の淵へと落とし入れた。

2005年8月9日、被爆60周年記念にあたり、悲惨な体験を持つ鎮西学院は神の前に深い罪を悔い改め、核廃絶とあらゆる戦争をなくすために祈り、地の上に真の平和を来たらすことを宣言する。鎮西学院は、「敬天愛人」の精神をもって、他者との共生を求める Only One for Others としての魂の教育に取り組み、敵意という隔ての中垣を取り除き、平和を来たらせる和解の使者となる新しい人(エフェソ書2章14節)の育成を目指す。

データ



卒業生

東山手時代 1,479名 竹之久保時代 1,492名
中学 56回～59回 262名 専科 32名
諫早時代 中学 1,350名 高校 15,243名
短期大学 4,444名 大学 77名
合計 24,379名 (2005年8月9日現在)

同窓生

遠山 参良	初代理事長・夏目漱石後任の五高教授
倉場富三郎	トーマス・グラバーの子
松本 卓夫	広島女学院院長
中山 福造	弁護士、衆議院議員
西岡竹次郎	長崎県知事
松永 東	衆議院議員・文部大臣
鶴崎 多一	福岡県知事
岡西 明貞	衆議院議員
佐野 勝也	九州大学教授
秋吉 利雄	海軍中将、海図測定・天文学権威
溝上喜久雄	東京歯科大学病院長
大泉清(黒石)	作家「老子」「人間廃業」
鮫島麟太郎	作家「からゆきさん」
川上 宗薫	作家
田添 鉄二	キリスト教社会主義思想家
宮崎 滔天	社会主義思想家
小田 安馬	大林組(株)顧問
宇土 虎雄	柔道9段、全日本柔道選士権大会優勝
吉岡 信之	トヨタ自販(株)社長
笹森 建三	東京電力(株)常務
高島菊次郎	王子製紙(株)社長
服部 武雄	大阪東運送(株)社長
笹森 四郎	関西学院大学商学部長
高本捨三郎	明治学院大学教授

西山 祐三	鎮西学院理事長・諫早女学院院長
尾崎 主一	西南学院大学神学部教授
吉岡 利治	武庫川女子大学教授・テニス選手沢松姉妹を育てた。
泉田 喜義	プロ野球選手（広島カープ）
山川 武範	プロ野球選手（巨人）
関山幹一郎	プロ野球選手（巨人）

牧 師

安達 景樹、宗 音重、吉岡 誠明、値賀虎之助
 多賀武次郎、田中 新一、川瀬小太郎、村井 競
 大沢 三八、山内徳太郎、川島末之進、西田 福次
 川崎 升、田島徳太郎、伊世知九郎、成田 保英
 渡辺 推庵、横島 貫一、井上太一郎、岩切 与助
 野原 玄三、岡安 慶輔、大林 宗嗣、松本 以策
 服部 節吉、松本 卓夫、川尻 正修、中西 貞雄
 小林 矩表、榎本 泰治、米倉 次吉、八巻 頼男
 遠矢(伊東)平次、河野(吉田)次郎七、井上健次郎
 笹森 建一、千葉 胤雄、三戸吉太郎、山口 徳夫
 井上 慶一、尾崎 主一、早田 義孝、田中 茂甫
 鎌江 孝、宮島久太郎、佐久原好信、東島 鷹次
 川崎 哲

理事長

初代 遠山 参良、第2代 西山 祐三
 第3代 古屋野宏平、第4代 吉見 豊
 第5代 古崎 博、第6代 齊藤 堅固
 第7代 林田 秀彦

鎮西学院のあゆみ データベース

- 1881年 加伯利英和学校（カブリー・セミナー）
- 1899年 鎮西学館と改称
- 1906年 鎮西学院と改称
- 1930年 竹之久保に移転
- 1945年 竹之久保校舎原爆被災
- 1946年 諫早市永昌東町に移転
- 1947年 鎮西学院中学校（新制）
- 1948年 鎮西学院高等学校（新制）
- 1951年 諫早市栄田町（現在地）に移転
- 1955年 鎮西学院幼稚園
- 1959年 ピースチャペル献堂
- 1966年 鎮西学院短期大学（英語科、教養科）
- 1968年 米国・テネシーウエスレヤン大学姉妹校締結
- 1969年 フィリピン・バギオ大学と姉妹校締結
- 1975年 高校普通科に国公立大学進学コース設置
- 1980年 長崎ウエスレヤン短期大学（改称）
- 1981年 創立100周年
- 1985年 中国・華僑大学と姉妹校締結
- 2002年 長崎ウエスレヤン大学
- 2005年 被爆60年祈念・「平和大行進」「平和宣言」
「平和の鐘」
- 2006年 創立125周年

姉妹校・留学協定提携先

高 校

中 国 福建省泉州第5中学

カナダ アップルピ・カレッジ

大 学

カナダ カリブー大学、ボウ・ヴァレイ大学

フレイザー・ヴァレイ大学

米 国 ポートランド・コミュニティ大学

マーティン・メソジスト大学

テネシー・ウエスレヤン大学

ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジ

タ イ アジアン・スカラーズ大学、

フォン・コマーシャル&テクニカル・カレッジ

フィリピン バギオ大学

ブラジル ピラシカバ・メソジスト大学

韓 国 慶南情報大学、慶北科学大学、仁徳大学

中 国 天津師範大学、天津職業大学

天津理工学院大学

デンマーク デニッシュ・ジャパニーズ・カル

チャー・カレッジ

あとがき

鎮西学院は120余年に及ぶ歴史の中で校舎全焼の悲劇を2度も経験した。さらには原爆により校舎は壊滅的な打撃を受け、120余名の教師生徒を失った。困難な絶望的な状態にあっても、神の恩寵を信じつつ学院の復興と発展のためにささげた先達たちの献身的な努力に対し、感謝の思いを新たにしたい。

発祥の地東山手において、中興の時を迎えた竹之久保において、被爆後の不自由な仮教室授業を過ごした中央エリアにおいて、鎮西学院は65年間にわたって長崎市内にいくつかの足跡を残している。それは、鎮西学院の苦難と発展の歴史の足跡に他ならない。

艱難の時代を過ごし、しかし“汝の若き日に汝の造り主を覚えよ”と教えられつつ鎮西学院で育ったことを誇りにしている長崎市時代の鎮西学院卒業生にとって、鎮西学院の歴史の跡をたどることは、そのまま一人ひとりが過ごした青春の証であり、また今生きることの意味の再発見といえるのではないだろうか。

鎮西学院は今、県央諫早市にて緑も深きキャンパスの中で、幼稚園、高等学校、大学を擁し、千数百名の園児、生徒、学生そして百数十名の教職員が生き生きと学園生活を過ごしている。2ドルの初穂を献げたカブリー夫人、創設者のC.S.ロングとJ.C.デビソンの両宣教師、そして歴代の院長、教職員、同窓生の残した志を受け継ぎその足跡を踏み返しつつ、これからの未来への道へと新たな歩みを始めたい。

本史跡ガイドブックづくりにあたっては、大勢の方々のご協力とご声援とをいただいた。史跡ブックがよくできているとすれば皆さんのおかげであり、不足している部分は編集チームの非力による。

アウフヴィーダゼーン！（再会を期待して）さようなら。
（編集委員一同：文責 笹森）



平和通り

Peace Avenue



鎮西学院本部棟
Head Office of Chinzei Gakuin



納骨堂 Charnel House



平和祈念碑
Peace Memorial
Monument



ピースチャペル
Peace Chapel



平和の鐘・平和宣言の碑
Peace Bell and
Peace Declaration
Monument



コレル女史像
Mrs. Correll
Monument



鎮西学院 史跡ガイドブック

学校法人 鎮西学院

〒854 0081 長崎県諫早市栄田町1057

TEL 0957 26 8200

大 学 <http://www.nwjc.ac.jp/>

高等学校 <http://chinzei.vis.ne.jp/>

2005年 8 月 9 日 平和祈念日

編集委員：笹森勝之助（主幹）、西田 博

山城 順、渡邊研宣、渡辺敏代

カ ッ ト：鎮西学院高等学校美術部